

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		地域防犯ボランティア支援事業						予算事業名		明るい地域づくり推進事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				02	07	01	2001	経常経費					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業			
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)								重点事業			
		②防犯対策の充実						担当課係等		防災安全課			
		2地域ぐるみの防犯								交通防犯係			
事業期間		継続(平成18年度～平成33年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
犯罪発生抑止を図るうえで、地域防犯団体の育成を推進するとともに、連絡体制を強化する。また、警察署と連携を図り、市民に犯罪状況等を提供する。							結城市安全で住みよいまちづくり条例に基づき、市民の防犯意識の高揚を図るために設置した。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
○防犯連絡会議の開催 ○広報による登録団体の呼びかけ ○地域防犯パトロール団体に対し防犯活動に係る資機材購入費用を助成する ○防犯灯設置補助金							市から委嘱を受けた地域防犯ボランティア団体						
							【事業をとりまく環境の変化】 犯罪件数は減少傾向にはあるものの、車両盗難等については増加傾向であり、防犯組織の拡大が望まれている。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
防犯連絡会議の開催 広報による登録団体のよびかけ 地域防犯パトロール団体に対し防犯活動に係る資機材購入費用を助成する 防犯灯設置補助金				防犯連絡会議の開催 広報による登録団体のよびかけ 地域防犯パトロール団体に対し防犯活動に係る資機材購入費用を助成する 防犯灯設置補助金				防犯連絡会議の開催 広報による登録団体のよびかけ 地域防犯パトロール団体に対し防犯活動に係る資機材購入費用を助成する 防犯灯設置補助金					
■事業費													
				H29年度		H30年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	1,571	2,640						
歳入計(千円)				1,571		2,640							
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)							
	11	需用費			14		25						
	12	役務費			559		559						
	19	負担金補助及び交付金			998		2,056						
歳出計(千円)(A)				1,571		2,640							
伸び率(%)						68.04							
備 考	総合計画83ページ 予算書64ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	防犯連絡会議開催	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	補助金交付件数	件	目標	20.00	22.00	24.00
	地域防犯パトロール団体(資機材購入費用助成), 防犯灯設置補助金		実績	16.00	0.00	0.00
成果 指標	防犯灯設置件数	基	目標	70.00	70.00	70.00
			実績	107.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	防犯上, 必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政がやるべき事業である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	手段としては一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	経費面での課題がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内全域が対象である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね目標水準に達成している。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	ほぼ順調に進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
防犯灯（街路灯）設置の補助は、市民（自治会）からの要望により実施している。また、住民主導による防犯意識の高まりや、地域住民等による防犯パトロールの実施により、地域の防犯効果を高めるとともに、青色回転灯装備車両によるパトロール活動をする団体育成には、費用負担や規制等の支援を行っていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
お知らせ版等による広報活動を図り、団体拡充を目指す。また、新規団体に対する経費削減が図れるよう、補助内容の検討を図る。防犯灯（街路灯）設置の補助は、毎年要望しても入れられない自治会があるため、要項等の見直しを図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 各種犯罪が多様化する中、地域防犯活動が重要であり、ボランティア活動を育成充実させる必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。